

「令和2年度 岡山県学力・学習状況調査結果」の概要について

1 岡山県学力・学習状況調査の実施状況

(1) 調査の目的

個々の児童生徒の学力・学習状況を全国比較及び経年比較することにより、教育指導や教育施策の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策の臨時休業等の影響を鑑み、実施日等を変更した上で、児童生徒、一人一人の学習の状況を把握し、今後の学力保障や学習指導に生かす。

(2) 学力調査の実施期間 令和2年6月22日（月）～8月31日（月）の間

(3) 実施校数・児童生徒数等

	小学校			中学校	
	第3学年	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
受検校数	285校	289校	290校	119校	120校
県内受検者数	9766名	9856名	9901名	10044名	9756名
全国受検者数	約5万人	約6万人	約6万人	約6万人	約6万人
実施教科等	国語、算数	国語、算数	国語、算数 質問紙	国語、数学 質問紙	国語、数学、英語 質問紙

※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国受検者数は例年に比べ、減少している。

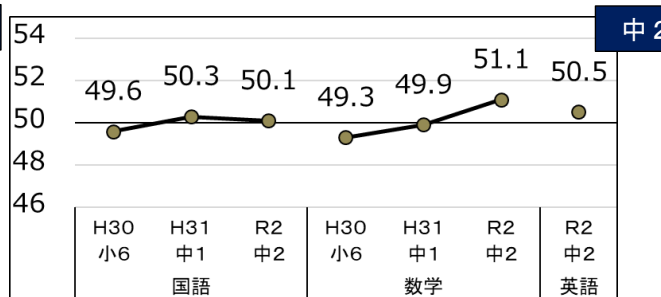
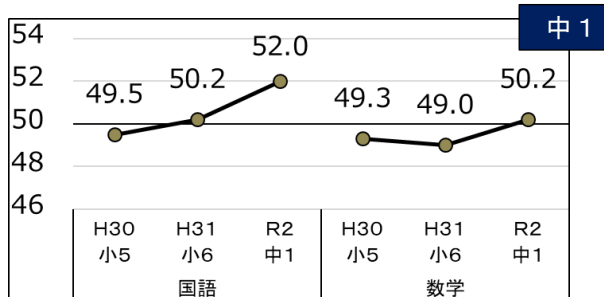
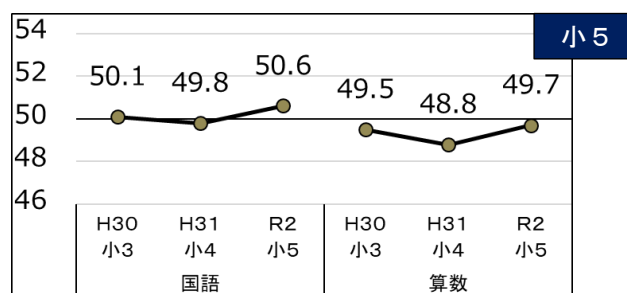
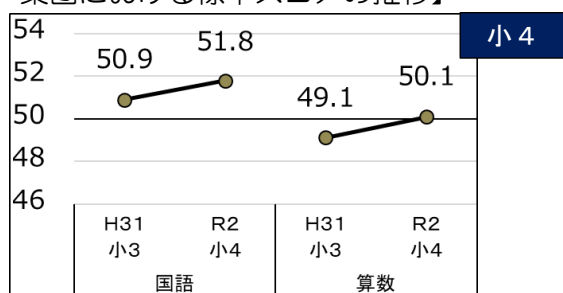
2 学力調査の結果

※本調査では、全国における平均正答率を50としたときの換算値（以下「標準スコア」とする。）を用いる。

【標準スコア】

	学年	国語			算数・数学			英語		
		H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
小学校	3年	50.1	50.9	51.6	49.5	49.1	51.6	/	/	/
	4年	49.5	49.8	51.8	49.1	48.8	50.1	/	/	/
	5年	49.5	49.0	50.6	49.3	49.1	49.7	/	/	/
中学校	1年	49.8	50.3	52.0	49.8	49.9	50.2	/	/	/
	2年	50.9	51.0	50.1	52.1	51.2	51.1	51.2	48.6	50.5

【同一集団における標準スコアの推移】



- ・小学校では、5年生の算数を除いて全国値を上回った。【同一集団における標準スコアの推移】は、全教科、全学年において前年度より上昇している。
- ・中学校では、全学年、全教科において全国値を上回った。【同一集団における標準スコアの推移】は、2年生の国語を除いて上昇している。

3 学習状況調査の結果

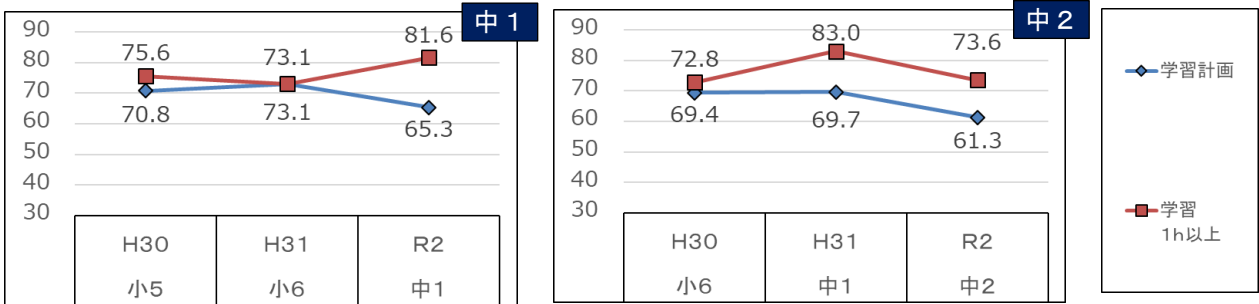
○学習習慣

- ① 自分で計画を立てて勉強をしていた。(学習計画)
 ② 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。(学習1h以上)

【年度毎の肯定的回答割合〔単位：％〕】

	学年	① 学習計画			② 学習1h以上		
		H30	H31	R2	H30	H31	R2
小学校	5年	70.8	71.9	69.7	75.6	74.2	77.2
中学校	1年	66.2	69.7	65.3	82.1	83.0	81.6
	2年	56.4	59.1	61.3	71.0	74.4	73.6

【同一集団における肯定的回答割合の推移〔単位：％〕】



- ・【年度毎の肯定的回答割合】は、昨年度に比べ、中学校2年生の「学習計画」と小学校5年生の「学習1h以上」を除いて、肯定的回答割合が減少している。
- ・【同一集団における肯定的回答割合の推移】でも、中学校1年生の「学習1h以上」を除いて減少している。

○授業理解

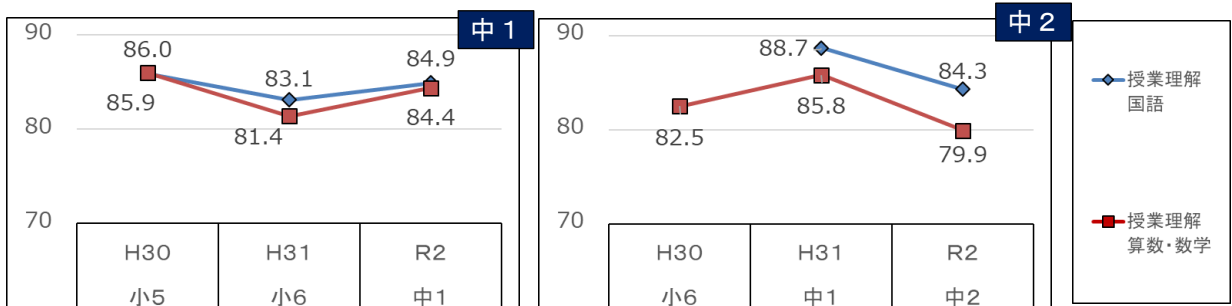
- ③ 国語の授業の内容はよく分かる。(国語の授業理解)
 ④ 算数・数学の授業の内容はよく分かる。(算数・数学の授業理解)

【年度毎の肯定的回答割合〔単位：％〕】

	学年	③ 国語の授業理解			④ 算数・数学の授業理解		
		H30	H31	R2	H30	H31	R2
小学校	5年	85.9	86.6	84.3	86.0	86.2	83.2
中学校	1年	83.5	88.7	84.9	84.3	85.8	84.4
	2年	84.6	86.0	84.3	76.4	77.1	79.9

【同一集団における肯定的回答割合の推移〔単位：％〕】

※中2のグラフのH30の小6は、全国学力・学習状況調査に質問項目がなかったため、数値が入っていない。



- ・【年度毎の肯定的回答割合】は、昨年度に比べ、中学校2年生の数学を除いて、肯定的回答割合が減少している。
- ・【同一集団における肯定的回答割合の推移】では、中学校1年生は増加しているが、中学校2年生は減少している。

4 設問から見える成果と課題

小学校国語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
3	7	指定された長さで文章を書くことができる。	77.4	67.6	9.8
4	7	理由や事例を挙げて文章を書くことができる。	68.1	57.1	11.0
5	7	自分の意見を明らかにして文章を書くことができる。	64.6	57.9	6.7

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
3	2 (2) ②	第2学年配当漢字を書くことができる。	49.3	44.5	4.8
4	3 (2)	ローマ字のつづりを理解している。	47.2	48.9	-1.7
5	1 (3)	司会の役割として、参加者の発言の共通点をまとめることができる。	47.3	46.6	0.7

- 複数の条件に従って文章を書く設問の正答率が全国を上回ったことから、各学校で課題意識をもって書かせる指導に取り組んできた成果が表れたと考えられる。引き続き各教科等で、文章や図、表、グラフ等から読み取ったことを踏まえて書く活動に取り組むことが効果的である。一方で、無回答もあったことから、授業の中で、「途中まででもよいから書く」ことを促し、完全ではなくても文字で自分の考えを表現する児童を育成することが求められる。
- 3年生や5年生では、半数以上の児童が正しく書くことができない漢字が見られた。当該学年までに学んだ漢字の読み書きについて、復習する機会を設けるなど、定着を図る取組が求められる。
- ローマ字のつづりを理解しているかを見る設問の正答率が低く、依然として課題である。ICT活用の基礎となるキーボード入力には、ローマ字の理解が必要なため、ローマ字の習得と活用の場面を適切に設定することが求められる。
- 聞き取った内容に基づいて記述する設問の正答率が低かったことから、国語科だけでなく他教科でも、必要なことを記録しながら聞いたり、内容の要約を書かせたりする場面を意図的に設定する必要がある。

小学校算数

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
3	13 (2)	1時間=60分の関係を理解している。	68.8	58.4	10.4
4	16	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	57.0	48.6	8.4
5	14	平行四辺形の作図ができる。	54.8	46.2	8.4

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
3	15 (2)	身近にあるもののかさを推測して、適切な単位を使うことができる。	48.7	46.9	1.8
4	4 (1)	1/8Lの8個分のかさが分かる。	45.1	48.0	-2.9
5	15 (2)	伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことができる。	51.2	55.3	-4.1

- 日常生活に関わる知識を問う設問のうち、1時間=60分の関係を理解しているかを見る設問や、余りを切り上げて処理する設問の正答率が高かった。一方、身近なもののかさを表す単位を問う設問では、半数以上の児童が正答できず、かさの単位と量感が結び付いていないことが分かる。授業において、身の回りのかさの量感を体感的に知り、それを手がかりにおよそのかさの見当をつけたり、学んだことを日常生活に結び付けたりすることが求められる。
- 1/8Lの8個分のかさを問う設問に半数以上の児童が答えられなかったことから、分数の概念（意味）を理解していないことが分かる。分数を初めて学習する2年生において、具体物を使ったの操作活動を十分に行うことにより、分数で表す意味を理解させ、3年生において、分数の意味や表し方を習得させることが必要である。また、伴って変わる2つの数量の関係を式に表す設問に課題が見られた。この設問は、中学校で学ぶ関数につながる学習内容であり、中学校でも課題が見られることから、系統性を意識して指導することが求められる。

中学校国語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	7	自分の考えの理由を書くことができる。	66.5	53.4	13.1
2	7	自分の考えを明確に書くことができる。	61.2	57.3	3.9

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	3 (4)	敬語について理解している。	50.3	46.6	3.7
2	4 (3)	文章の構成や展開をとらえることができる。	49.0	47.6	1.4

- 条件に従って自分の考えを書く設問の正答率が高かったことから、定期テスト等で、条件作文を取り入れる取組が行われている成果が出ていると考えられる。国語科だけでなく、他教科でも記述式の設問を設定し、書く力をさらに育成したい。一方で、小学校と同様に無回答もあったため、授業では、語彙を増やすためにマッピング（発想シート）を行ったり、構想メモを書いて交流したりする時間を十分に確保し、適切に支援と評価を行いながら、生徒の書く意欲を高める指導を行うことが大切である。
- 全国学力・学習状況調査でも課題であった敬語の理解を問う設問で、半数近くの生徒が正しく答えることができなかったことから、学校では、日常生活や儀式的行事、職場体験学習等の場面を捉えて、丁寧で正しい言葉遣いを意識させることや、校内の言語環境を整えることが大切である。また、敬語や文法等の基礎的な知識及び技能の定着のためには、復習やドリル学習を効果的にすることも求められる。
- 説明文の構成や展開を捉えることができるかを見る設問では、段落の役割、内容を読み取る力に課題が見られた。授業では、生徒同士で各段落の要約やあらすじを紹介し合うなどの場面を設定し、生徒が読み取った内容をアウトプットする活動を行うことが大切である。また、教師は生徒の発言や記述を見取り、必要に応じて指導、支援することが必要である。

中学校数学

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	17 (2)	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	69.8	59.4	10.4
2	1 (4)	1次式の減法ができる。	72.4	61.6	10.8
2	2 (2)	1次方程式を解くことができる。	76.4	64.3	12.1

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	3	分数÷分数に関する文章題を解くための式をつくることができる。	21.7	24.7	-3.0
1	15 (1)	6:9と等しい比を選ぶことができる。	25.6	29.0	-3.4
2	7	関数について、理解している。	34.0	41.3	-7.3

- 1次式の減法や1次方程式のような基本的な計算力を問う設問では、正答率が全国を上回った。文字を用いた式の計算や方程式の反復練習で習熟が図られたり、補充学習等において個に応じた指導がなされたりしたことが、成果につながったと考えられる。
- 分数÷分数に関する文章題を解くための式をつくる設問では、正答率が低かった。除数と被除数を逆にしている生徒の割合が高く、文脈を捉えて正しく立式することができていない。また、6:9と等しい比を選ぶ設問では、「1/6:1/9」と解答している生徒の割合が高かったことから、比の相等（等しい比）の意味やそれを確かめる方法を理解できていないと考えられる。これらは、小学校で学習する内容であるが、中学校において、関連する単元の中で小学校の既習内容の定着を確認することが求められる。
- 関数について理解しているかを見る設問で、正答率が低かったことから、関数の意味を理解できていないと考えられる。関数の意味を理解するために、普段の授業で、小学校で学習した比例、反比例が関数の一例であることを押さえたり、身近な数量の関係の中に関数関係にあるものを確認したりするような課題を取り入れることが必要である。

中学校英語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	6 (1) ①	語形・語法を理解することができる。 (疑問詞 when)	73.1	65.4	7.7
2	9 (4)	英文を正しい語順で書くことができる。 (Where を使った疑問文)	59.2	51.2	8.0

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	2 (3)	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。	56.3	60.9	-4.6
2	8 (2)	メールの内容を把握することができる。	51.6	48.6	3.0

- ・疑問詞を使った穴埋めや並び替えの設問は、正答率が全国を上回った。文法の定着を目的とした定型文の反復練習を行った成果と考えられる。定型文の理解に加え、疑問詞を使った他の文にも対応できるように、教科書本文の内容に関する質問を疑問詞を用いて作成し、答えを書かせたり口頭で答えさせたりするなど、普段から疑問詞を用いた疑問文に触れさせることが大切である。
- ・対話文の内容を聞き取り、適切に応答することができるかを見る設問に課題が見られた。対話文の音声を聞き取り、What time ～? の質問に対して、時間を解答することはできていたが、対話全体の内容を捉えることができていないことが原因と考えられることから、授業の中で、教師やALTが日常の出来事を話し、その概要を捉える取組を充実させることが効果的である。また、英語科だけでなく他教科でも、必要なことを記録しながら聞いたり、聞いた内容の要約を書かせたりする活動の充実が求められる。
- ・メールの内容を把握しているかを見る設問の正答率が約半数であった。メールの概要を理解しないまま、本文中の単語を手掛かりに解答したことが原因と考えられる。英語科だけでなく、国語科などの他教科でも読み物教材の概要を捉えさせる活動に取り組むことが大切である。

5 今後の取組

県教委の取組

【管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問】

- ・県内（岡山市立を除く）の全ての公立小・中学校を訪問し、学校長が作成した「学校経営アクションプラン」を基に、学力向上をはじめ、学校が抱える課題の解決や特色ある学校づくりに向けた取組について管理職と面談、協議を行い、管理職のビジョンと戦略を支援する。
- ・授業参観を行い、今後の授業改善の方向性について指導・助言を行うとともに、改善の進捗状況を確認する。

【授業改善の推進】

- ・「学力向上担当者通信」、「県外先進校レポート通信」を発行し、学力向上の推進に向けて、学校で取り組むべきポイントや他県の取組の良いところを紹介する。
- ・県内に配置している授業改革推進リーダー・推進員を中心に、授業改善に係る研究を深め、市町村教育委員会と連携した指導の充実を図る。

【個に応じた指導の充実】

- ・「学力定着状況確認テスト」、「学習状況調査」を実施することで、各学校における児童生徒のつまずきや学習状況を把握できるようにする。
- ・個のつまずきに応じたプリントを作成できる「Web 評価支援システム」を学校に提供することで、積極的な活用を促す。
- ・放課後学習サポート事業により支援員を配置することで、各学校が放課後等に実施する補足的な学習指導を支援する。

【望ましい学習習慣の形成】

- ・『家庭学習のスタンダード』、『家庭学習のスタンダード増補版』に基づいた、サイクル（C）とフィードバック（F）の取組の実践を支援する。
- ・今年度、義務教育課が作成し、教職員に配付している『授業改善と家庭学習で自律的学習者を育てる』の活用を進め、自分で計画を立てて学習する児童生徒の育成を支援する。

【授業改善の推進】

- 学力向上担当者を中心として、担任や教科担当が当該学年や教科における結果分析を実施することで、全教員が学校全体の分析状況を共有し、共通理解に基づき、つまずき解消に向けた取組を推進する。
- 『岡山型学習指導のスタンダード』に基づいた授業5の視点に加え、『岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善、「一歩先へ！」』に示している、児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行う視点を大切にして、授業改善を進める。
- 『増補版』の視点で作成した授業観察シートを効果的に活用し、さらなる授業改善を進める。

【個に応じた指導の充実】

- 「学力定着状況確認テスト」や小テスト等により児童生徒のつまずきを把握し、個に応じたプリントを用いたり、一人一台端末を活用したりしてつまずきの解消を図る。
- 放課後等を利用した補足的な学習指導を行い、学力の定着を図る。

【望ましい学習習慣の形成】

- 『家庭学習のスタンダード』、『家庭学習のスタンダード増補版』を活用し、授業と関連付けながら、短いサイクルで定着を図るサイクル（C）とフィードバック（F）の取組を実践するとともに、小学校と中学校の連携を進め、学習内容の定着と学習習慣の形成を図る。
- 『授業改善と家庭学習で自律的学習者を育てる』を活用し、児童生徒が自分で計画を立てて学習を進められるような家庭学習のあり方を工夫する。

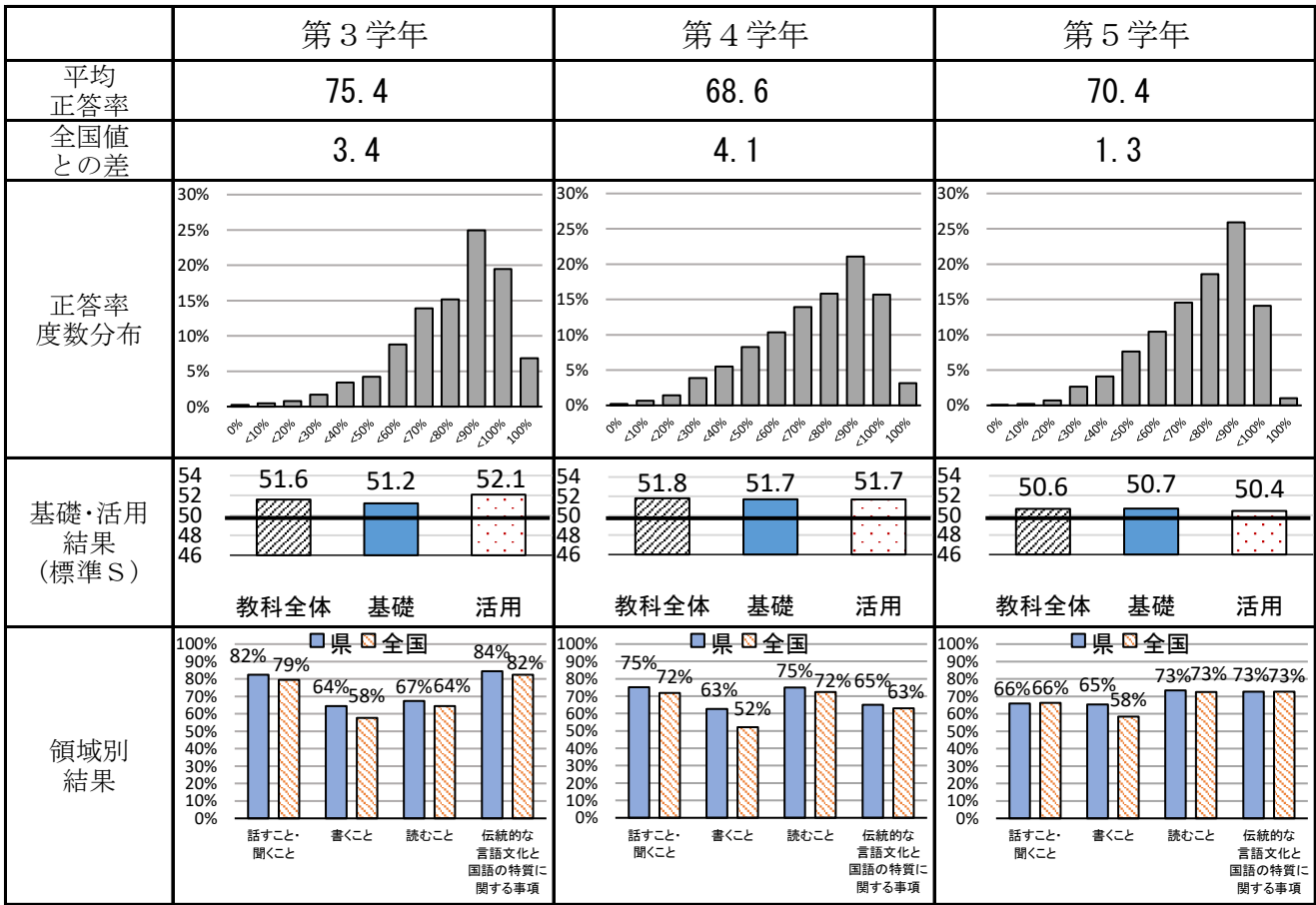
令和2年度岡山県学力・学習状況調査

公表資料

1 校種別、教科別の結果

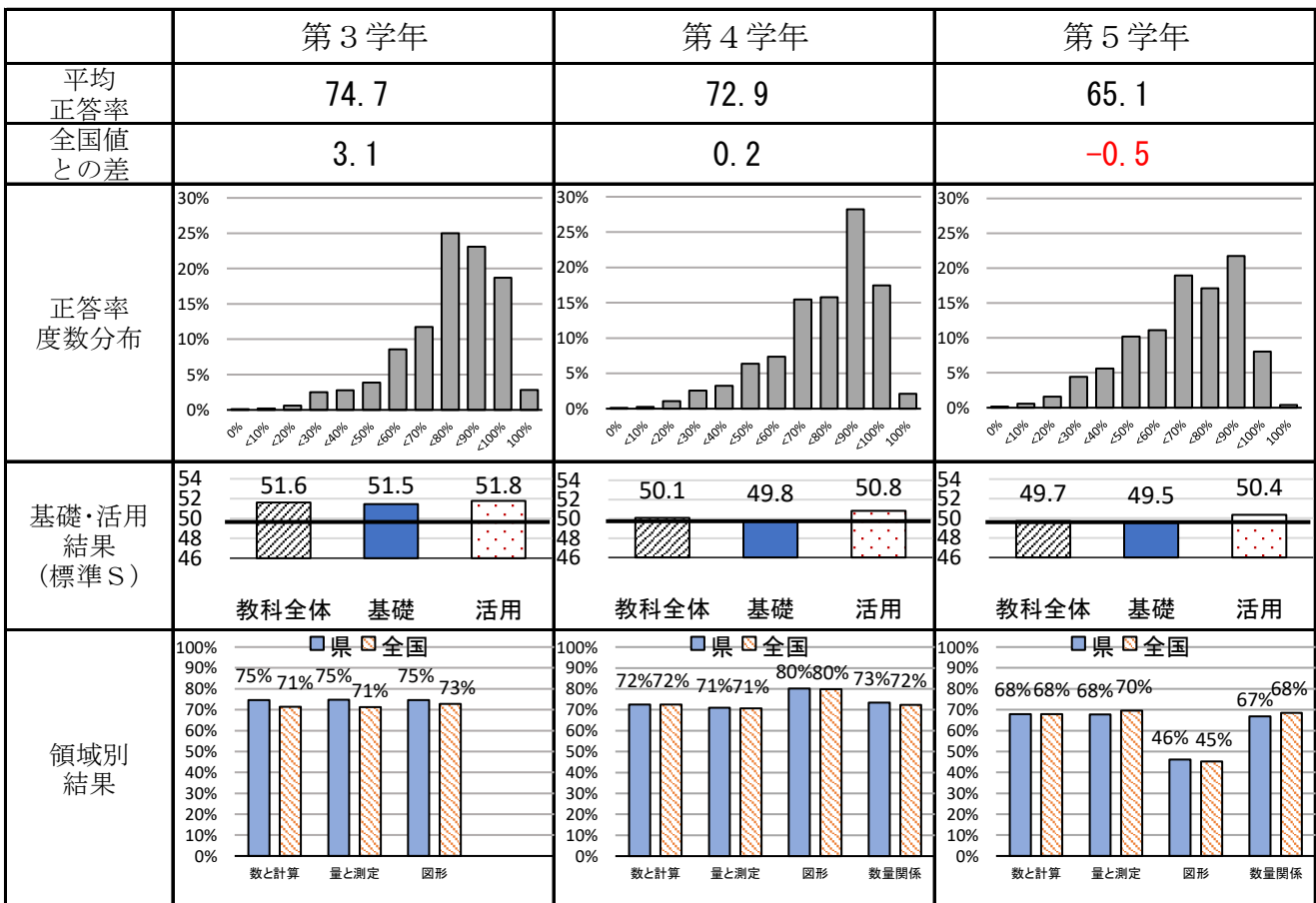
(1) 小学校 国語

○結果の概要



(2) 小学校 算数

○結果の概要



(3) 中学校 国語

○結果の概要

	第1学年	第2学年																														
平均正答率	67.5	73.3																														
全国値との差	4.1	0.2																														
正答率度数分布																																
基礎・活用結果(標準S)																																
領域別結果	<table border="1"> <tr><th>領域</th><th>県</th><th>全国</th></tr> <tr><td>話すこと・聞くこと</td><td>62%</td><td>59%</td></tr> <tr><td>書くこと</td><td>66%</td><td>55%</td></tr> <tr><td>読むこと</td><td>68%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</td><td>71%</td><td>67%</td></tr> </table>	領域	県	全国	話すこと・聞くこと	62%	59%	書くこと	66%	55%	読むこと	68%	68%	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71%	67%	<table border="1"> <tr><th>領域</th><th>県</th><th>全国</th></tr> <tr><td>話すこと・聞くこと</td><td>79%</td><td>81%</td></tr> <tr><td>書くこと</td><td>67%</td><td>65%</td></tr> <tr><td>読むこと</td><td>61%</td><td>62%</td></tr> <tr><td>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</td><td>83%</td><td>83%</td></tr> </table>	領域	県	全国	話すこと・聞くこと	79%	81%	書くこと	67%	65%	読むこと	61%	62%	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83%	83%
領域	県	全国																														
話すこと・聞くこと	62%	59%																														
書くこと	66%	55%																														
読むこと	68%	68%																														
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71%	67%																														
領域	県	全国																														
話すこと・聞くこと	79%	81%																														
書くこと	67%	65%																														
読むこと	61%	62%																														
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83%	83%																														

(4) 中学校 数学

○結果の概要

	第1学年	第2学年																														
平均正答率	67.0	59.2																														
全国値との差	0.4	2.7																														
正答率度数分布																																
基礎・活用結果(標準S)																																
領域別結果	<table border="1"> <tr><th>領域</th><th>県</th><th>全国</th></tr> <tr><td>数と計算</td><td>72%</td><td>71%</td></tr> <tr><td>量と測定</td><td>62%</td><td>63%</td></tr> <tr><td>図形</td><td>76%</td><td>77%</td></tr> <tr><td>数量関係</td><td>62%</td><td>61%</td></tr> </table>	領域	県	全国	数と計算	72%	71%	量と測定	62%	63%	図形	76%	77%	数量関係	62%	61%	<table border="1"> <tr><th>領域</th><th>県</th><th>全国</th></tr> <tr><td>数と式</td><td>68%</td><td>63%</td></tr> <tr><td>図形</td><td>55%</td><td>55%</td></tr> <tr><td>関数</td><td>53%</td><td>51%</td></tr> <tr><td>資料の活用</td><td>55%</td><td>52%</td></tr> </table>	領域	県	全国	数と式	68%	63%	図形	55%	55%	関数	53%	51%	資料の活用	55%	52%
領域	県	全国																														
数と計算	72%	71%																														
量と測定	62%	63%																														
図形	76%	77%																														
数量関係	62%	61%																														
領域	県	全国																														
数と式	68%	63%																														
図形	55%	55%																														
関数	53%	51%																														
資料の活用	55%	52%																														

(5) 中学校 英語

○結果の概要

	第1学年	第2学年
平均 正答率	/	63.8
全国値 との差		1.1
正答率 度数分布		
基礎・活用 結果 (標準S)		
領域別 結果		

2 設問別の結果

【小学校3年 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	話すこと・ 聞くこと	大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	83.9	82.6			1.3
	(2)			84.1	86.3			-2.2
	(3)			79.2	69.3			9.9
2	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	第2学年配当漢字を読むことができる。	96.2	95.5			0.7
				89.6	90.6			-1.0
				96.7	97.4			-0.7
	(2)		第2学年配当漢字を書くことができる。	81.9	79.6			2.3
				49.3	44.5			4.8
				85.4	82.6			2.8
3	(1) (2)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	平仮名と片仮名を正しく使い分けることができる。 漢字の書き順がわかる。	87.9	85.4			2.5
				82.5	79.4			3.1
				90.3	86.4			3.9
4	(1) (2) (3)	読むこと	場面の様子を読み取ることができる。 目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	78.8	78.2			0.6
				73.6	69.8			3.8
				65.6	63.3			2.3
5	(1) (2) (3)	読むこと	事柄の順序などを考えながら、内容を読み取ることができる。 目的や必要に応じて、文章の内容を整理することができる。	52.1	51.5			0.6
				59.4	57.0			2.4
				74.8	67.1			7.7
6	(1) (2)	書くこと	事柄の順序に沿って、説明する文章を考えることができる。 適切な内容を書いて、説明する文章を完成させることができる。	60.5	54.8			5.7
				60.8	53.4			7.4
7		書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。 経験・想像したことの中から書くことを決め、文章を書くことができる。 自分の考えが明確になるように、具体的に文章を書くことができる。	77.4	67.6			9.8
				62.4	57.5			4.9
				60.7	55.4			5.3

【小学校3年 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	数と計算	1けた+2けた=2けた(繰り上がりあり)の計算ができる。	92.9	93.3			-0.4
	(2)		2けた+2けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	86.9	85.3			1.6
	(3)		2けた-2けた=2けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	84.4	80.5			3.9
	(4)		3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	81.3	76.7			4.6
2	(1)	数と計算	2の段の九九ができる。	97.2	97.0			0.2
	(2)		8の段の九九ができる。	97.5	96.5			1.0
	(3)		9の段の九九ができる。	97.8	97.6			0.2
3	(1)	数と計算	位取り記数法を理解し、1000と100と10の個数から、その数を表すことができる。	89.1	87.9			1.2
	(2)		ある位の数字を表すことができる。	84.3	79.4			4.9
4		数と計算	数直線上に示された数を読み取ることができる。	84.8	79.1			5.7
5		数と計算	数の大小と不等号の意味を理解している。	33.7	28.6			5.1
6		数と計算	もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解している。	57.9	57.7			0.2
7		数と計算	九九表のきまりに気づき、それを生かして九九を構成することができる。	79.7	75.6			4.1
8	(1)	数と計算	文章問題(倍の問題)を、乗法九九を適用して解くことができる。	60.2	53.9			6.3
	(2)		文章問題(求補の場面)を、2けた-2けた=2けたの減法を適用して解くことができる。	82.4	78.6			3.8
9		数と計算	文章問題を解くための乗法九九の立式ができる。	82.7	82.2			0.5
10		数と計算	乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	71.0	66.2			4.8
11		数と計算	加法の結合法則を理解している。	48.6	43.9			4.7
12	(1)	数と計算	減法逆の加法の文章問題を表した図を理解している。	79.2	76.0			3.2
	(2)		減法逆の加法の文章問題を、図を使って解くことができる。	83.6	81.1			2.5
13	(1)	量と測定	ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。	81.8	80.4			1.4
	(2)		1時間=60分の関係を理解している。	68.8	58.4			10.4
14	(1)	量と測定	ものさしの目盛りを読み取ることができる。	89.5	88.2			1.3
	(2)		長さも加法の計算ができることを理解し、長さの和を求めることができる。	90.4	87.5			2.9
	(3)		長さの単位の関係を理解し、大小を判断することができる。	59.5	53.5			6.0
15	(1)	量と測定	リットルますに入った水のかさを、LとdLで表すことができる。	85.1	83.4			1.7
	(2)		身近にあるもののかさを推察して、適切な単位を使うことができる。	48.7	46.9			1.8
16	(1)	図形	長方形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	77.8	79.1			-1.3
	(2)		直角三角形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	71.8	72.8			-1.3
17		図形	方眼に正方形をかくことができる。	87.9	83.7			4.2
18	(1)	図形	直方体の辺の数を理解している。	82.8	80.8			2.0
	(2)		直方体を作るときに必要な面の形と数を理解している。	52.7	47.2			5.5
19	(1)	数と計算	加法と乗法を使って、必要な磁石の数を求めることができる。	38.9	33.1			5.8
	(2)		合計時間を求めて、その和が50分以内であることを説明することができる。	28.4	21.2			7.2

【小学校4年 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	話すこと・ 聞くこと	大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	93.3	91.6			1.7
	(2)		話し方の工夫に注意して聞き取ることができる。	71.8	67.3			4.5
	(3)		話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	77.2	74.1			3.1
2	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	第3学年配当漢字を読むことができる。	54.7	52.7			2.0
				84.8	85.5			-0.7
				61.5	61.4			0.1
	(2)		第3学年配当漢字を書くことができる。	53.3	54.3			-1.0
				67.0	61.6			5.4
				76.3	73.5			2.8
3	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	主語と述語について理解している。	69.5	63.4			6.1
	(2)		ローマ字のつづりを理解している。	47.2	48.9			-1.7
	(3)		国語辞典の使い方を理解している。	77.2	73.5			3.7
				59.6	55.4			4.2
4	(1)	読むこと	登場人物の様子を読み取ることができる。	84.0	83.5			0.5
	(2)		登場人物の気持ちを読み取ることができる。	75.8	74.7			1.1
	(3)		目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	84.9	84.4			0.5
5	(1)	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	89.6	87.6			2.0
	(2)		段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	65.7	61.4			4.3
	(3)		目的や必要に応じて、文章の内容を整理することができる。	50.3	43.0			7.3
6	(1)	話すこと・ 聞くこと	相手や目的に応じて、話すことができる。	58.3	54.7			3.6
	(2)	書くこと	書き方の工夫について意見を述べ合うことができる。	60.7	52.3			8.4
7		書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	56.0	42.9			13.1
			2段落構成で文章を書くことができる。	53.0	43.1			9.9
			書こうとするものの中心を明確にして文章を書くことができる。	75.4	65.6			9.8
			理由や事例を挙げて文章を書くことができる。	68.1	57.1			11.0

【小学校4年 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	数と計算	(1)	3けた+3けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	86.3	87.7			-1.4
		(2)	4けた-3けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	70.2	69.1			1.1
		(3)	2けた×1けた=3けたの計算ができる。	73.7	75.9			-2.2
		(4)	2けた×2けた=4けたの計算ができる。	64.6	65.5			-0.9
		(5)	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	89.5	94.4			-4.9
		(6)	2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	82.0	84.3			-2.3
		(7)	整数-小数第一位の計算ができる。	61.4	58.9			2.5
		(8)	同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	93.4	95.6			-2.2
2	数と計算	(1)	位取り記数法を理解し、1000万、10万、1000、1の個数から、その数を表すことができる。	84.5	83.5			1.0
		(2)	数の相対的な大きさについて理解している。	63.7	65.4			-1.7
3	数と計算	(1)	小数のしくみを理解している。	88.1	90.1			-2.0
		(2)	小数の相対的な大きさについて理解している。	84.4	81.8			2.6
4	数と計算	(1)	1/8Lの8個分のかさがわかる。	45.1	48.0			-2.9
		(2)	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	65.5	67.5			-2.0
5	数と計算	(1)	文章問題を解くための除法の立式ができる。	82.4	81.6			0.8
		(2)	除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	81.0	79.3			1.7
6	数量関係	(1)	□を使った文章問題(減法逆の加法の場面)を表した図を理解している。	86.4	85.3			1.1
		(2)	□を使って、減法の式に表すことができる。	63.9	63.9			0.0
7	数量関係		□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	43.3	40.6			2.7
8	量と測定	(1)	ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。	79.4	78.6			0.8
		(2)	2つの時刻を比較して、その間の時間を求めることができる。	79.1	78.6			0.5
		(3)	1分=60秒の関係を理解している。	85.3	84.2			1.1
9	量と測定	(1)	地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	79.7	82.2			-2.5
		(2)	地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大小を比較し、差を求めることができる。	69.3	67.6			1.7
10	量と測定	(1)	はかりの目盛りの読み方を理解している。	85.1	86.3			-1.2
		(2)	身近にあるものの重さの単位について理解している。	69.7	68.8			0.9
11	図形	(1)	円の半径について理解している。	82.3	82.0			0.3
		(2)	3個のボールがびったり入っている箱の横の長さから、ボールの直径を求めることができる。	80.9	79.4			1.5
12	図形		二等辺三角形を作図することができる。	77.3	78.0			-0.7
13	数と計算		25×6の計算のしかたを説明することができる。	53.3	51.5			1.8
14	数量関係	(1)	棒グラフで、1目盛りの表す数わかる。	85.3	85.5			-0.2
		(2)	棒グラフから2番目に多い組を読み取ることができる。	88.0	86.4			1.6
15	量と測定	(1)	与えられた情報から、東町に着く時刻を求めることができる。	19.6	19.6			0.0
		(2)	減法を適用し、ほかに買ったものが何かを求め、そのように考えた理由を説明できる。	50.8	48.5			2.3
16	数と計算		余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	57.0	48.6			8.4

【小学校5年 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	話すこと・ 聞くこと	話の中心に気をつけて聞き取ることができる。	88.9	91.5			-2.6
	(2)		話し方の工夫に注意して聞き取ることができる。	82.0	83.3			-1.3
	(3)		司会の役割として、参加者の発言の共通点をまとめることができる。	47.3	46.6			0.7
2	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項		92.6	95.1			-2.5
			第4学年配当漢字を読むことができる。	98.1	97.3			0.8
				84.9	82.9			2.0
	(2)			71.8	71.5			0.3
			第4学年配当漢字を書くことができる。	47.0	51.6			-4.6
				83.3	83.1			0.2
3	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	連体修飾語について理解している。	64.8	63.0			1.8
	(2)		連用修飾語について理解している。	22.8	20.3			2.5
	(3)		指示語の使い方を理解している。	86.7	85.6			1.1
	(4)		漢字辞典の使い方を理解している。	75.3	76.3			-1.0
4	(1)	読むこと	登場人物の様子を読み取ることができる。	88.7	89.8			-1.1
	(2)		登場人物の気持ちを読み取ることができる。	73.3	73.9			-0.6
	(3)		目的や必要に応じて、登場人物の人物像を読み取ることができる。	77.0	76.6			0.4
5	(1)	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	89.8	90.7			-0.9
	(2)		目的に応じて、中心となる文や語をとらえて読むことができる。	65.7	60.5			5.2
	(3)		段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	45.5	43.9			1.6
6	(1)	話すこと・ 聞くこと	互いの考えの共通点を考えて話し合うことができる。	54.1	53.4			0.7
	(2)		相手や目的に応じて、話すことができる。	57.6	56.2			1.4
7		書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	67.8	59.6			8.2
			2段落構成で文章を書くことができる。	59.7	54.1			5.6
			理由や事例を挙げて文章を書くことができる。	69.7	61.6			8.1
			自分の意見を明らかにして文章を書くことができる。	64.6	57.9			6.7

【小学校5年 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	数と計算	3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	65.7	65.7			0.0
	(2)		小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	84.9	91.4			-6.5
	(3)		小数第一位-小数第三位(差が純小数)の計算ができる。	61.7	67.7			-6.0
	(4)		真分数+帯分数=帯分数(繰り上がりあり)の同分母分数の計算ができる。	77.8	76.3			1.5
	(5)		帯分数-真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。	78.3	77.4			0.9
	(6)		小数第一位×整数の計算ができる。	78.8	75.7			3.1
	(7)		小数第二位÷整数=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	62.0	56.0			6.0
2	(1)	数と計算	十進位取り記数法について理解している。	81.2	81.0			0.2
	(2)		数の相対的な大きさがわかる。	49.1	49.3			-0.2
3	(1)	数と計算	小数を10倍した数を理解している。	91.0	94.4			-3.4
	(2)		小数を用いた長さの単位変換ができる。	58.5	58.8			-0.3
4		数と計算	与えられた分数の数直線上への示し方を理解している。	87.7	93.1			-5.4
5		数と計算	整数, 帯分数, 真分数, 仮分数の大小関係を理解している。	55.9	57.3			-1.4
6		数と計算	千の位までの概数の表し方を理解している。	71.7	70.4			1.3
7	(1)	数と計算	倍とわり算の文章問題を表した図の構造をとらえることができる。	78.1	79.7			-1.6
	(2)		図を使って, 倍とわり算の文章問題に合った式を選ぶことができる。	81.5	83.3			-1.8
8		数と計算	2つの数量の関係を, もとの大きさの何倍になったかを考えて比べることができる。	65.3	65.2			0.1
9	(1)	数量関係	四則や()の混じった式の計算順序がわかる。	68.3	71.0			-2.7
	(2)		分配法則がわかる。	52.3	51.0			1.3
10	(1)	量と測定	分度器の中に示された角の大きさの目盛りの読み取り方を理解している。	79.6	85.0			-5.4
	(2)		180°より大きい角の大きさの見当をつけることができる。	74.4	76.4			-2.0
11	(1)	量と測定	身近にあるもののおよその面積を理解している。	71.9	77.1			-5.2
	(2)		大きな面積の単位換算をすることができる。	36.4	33.7			2.7
12		量と測定	複合図形で, 面積を求める考え方や図から式がわかる。	76.0	75.4			0.6
13		図形	直方体のある面と垂直な辺を理解している。	70.9	76.1			-5.2
14		図形	平行四辺形の作図ができる。	54.8	46.2			8.6
15	(1)	数量関係	伴って変わる2つの数量の一方の値から, もう一方の値を求めることができる。	91.3	91.3			0.0
	(2)		伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことができる。	51.2	55.3			-4.1
16	(1)	数量関係	折れ線グラフから変わり方を読み取ることができる。	73.8	73.0			0.8
	(2)		2つの折れ線グラフから, 必要なことを読み取ることができる。	67.7	69.3			-1.6
17		量と測定	二次元表の読み方を理解している。	63.2	68.2			-5.0
18	(1)	図形	平行四辺形の性質がわかる。	49.7	50.2			-0.5
	(2)		三角定規を組み合わせでできた四角形がひし形になることを説明することができる。	9.2	8.7			0.5
19	(1)	数と計算	130人分のホットケーキを作るときに使用するバターを量を求めることができる。	43.3	33.9			9.4
	(2)		人数分のホットケーキを作るために必要なふくろの数を求める計算とその答えを使って, 32ふくろでは足りないことをあまりの考えを使って説明することができる。	16.4	13.8			2.6

【中学校1年 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	話すこと・ 聞くこと	話の内容を正確に聞き取ることができる。	88.3	87.2			1.1
	(2)		司会者の工夫を聞き取ることができる。	57.0	55.7			1.3
	(3)		聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。	83.3	82.2			1.1
	(4)		相手の発言を注意して聞いて、自分の考えをまとめることができる。	43.4	38.5			4.9
2	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小学校で学習した漢字を読むことができる。	92.7	94.2			-1.5
				78.0	75.8			2.2
				82.9	81.5			1.4
				89.1	83.8			5.3
	(2)		小学校で学習した漢字を書くことができる。	68.1	51.0			17.1
				41.6	36.9			4.7
				82.5	80.1			2.4
				76.4	74.5			1.9
3	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	主語・述語について理解している。	73.1	69.5			3.6
	(2)		熟語の成り立ちについて理解している。	54.3	49.1			5.2
	(3)		慣用句について理解している。	63.9	63.7			0.2
	(4)		敬語について理解している。	50.3	46.6			3.7
4	(1)	読むこと	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	79.1	80.1			-1.0
	(2)		文章の構成や展開をとらえることができる。	72.0	72.7			-0.7
	(3)		文章の展開をとらえて、その内容を整理することができる。	69.6	69.7			-0.1
5	(1)	読むこと	登場人物の心情をとらえることができる。	75.4	77.6			-2.2
	(2)		文章の表現の特徴をとらえることができる。	51.0	51.4			-0.4
	(3)		登場人物の心情の変化をとらえることができる。	58.4	57.2			1.2
6	(1)	話すこと・ 聞くこと	互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うことができる。	51.3	45.3			6.0
	(2)			59.6	57.7			1.9
	(3)		話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめることができる。	53.9	46.5			7.4
7		書くこと	指定された文字数で書くことができる。	60.9	48.4			12.5
			3段落構成で文章を書くことができる。	58.0	47.6			10.4
			自分の考えを明確に書くことができる。	73.9	65.7			8.2
				69.5	58.2			11.3
			自分の考えの理由を書くことができる。	66.5	53.4			13.1

【中学校1年 数学】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	数と計算	小数第一位－小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	81.4	81.5			-0.1
	(2)		小数第一位÷小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	83.5	82.7			0.8
	(3)		同分母分数の減法(約分あり)の計算ができる。	81.6	77.4			4.2
	(4)		異分母分数の加法(約分なし)の計算ができる。	87.0	86.5			0.5
	(5)		分数×分数(約分なし)の計算ができる。	91.6	88.9			2.7
	(6)		分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	88.5	84.5			4.0
2	(1)	数と計算	2つの整数の最大公約数を求めることができる。	73.7	69.8			3.9
	(2)		2つの整数の最小公倍数に関する文章題を解くことができる。	68.4	71.6			-3.2
3		数と計算	分数÷分数に関する文章題を解くための式をつくること ができる。	21.7	24.7			-3.0
4		数と計算	小数の除法の文章問題を表した図を読み取ることが できる。	39.6	39.0			0.6
5	(1)	量と測定	円の面積を求める式を選ぶことができる。	86.3	86.9			-0.6
	(2)		底面積と高さから角柱の体積を求めることができる。	52.1	51.4			0.7
6		量と測定	直方体を組み合わせた図形の体積の求め方から求める式 を選ぶことができる。	61.7	64.5			-2.8
7	(1)	量と測定	表から平均を求めることができる。	90.1	88.0			2.1
	(2)		人口密度を求める式を選ぶことができる。	52.2	56.1			-3.9
8		量と測定	道のりと時間から速さを求める計算について理解し、単位を そろえて計算できていないことを指摘することができる。	31.2	29.2			2.0
9	(1)	図形	直線が180°であること、三角形の3つの内角の和が180° であることを利用して、三角形の外角の大きさを求める ことができる。	67.5	68.0			-0.5
	(2)		四角形の4つの内角の和が360°であることを利用して、 与えられた3つの角から残りの角の大きさを求める ことができる。	77.2	75.7			1.5
10		図形	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	82.1	86.0			-3.9
11		図形	地図を使って実際の直線距離を求めることができる。	78.2	78.9			-0.7
12	(1)	図形	点対称な図形について、対応する辺を求めることができる。	80.9	81.6			-0.7
	(2)		線対称な図形について、対称の軸が何本あるかを求める ことができる。	70.7	73.5			-2.8
13	(1)	数量関係	割合について理解し、クラスの数と男子の数から割合 を求めることができる。	48.8	49.1			-0.3
	(2)		百分率について理解し、割引後の代金を求める式を選 ぶことができる。	62.9	65.5			-2.6
14	(1)	数量関係	3つの色の塗り方が何通りあるかを求めることができる。	69.2	71.3			-2.1
	(2)		4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りある かを求めることができる。	48.8	51.1			-2.3
15	(1)	数量関係	6:9と等しい比を選ぶことができる。	25.6	29.0			-3.4
	(2)		比の考えを利用して、全体から一部の量を求めること ができる。	56.0	57.1			-1.1
16	(1)	数量関係	比例の関係を、xとyを使って式に表すことができる。	76.6	79.2			-2.6
	(2)		反比例の関係にある数量の一方の値から他方の値を求 めることができる。	60.7	58.6			2.1
17	(1)	数量関係	面積が一定の平行四辺形の底辺と高さの関係を表した式 を選ぶことができる。	71.3	70.3			1.0
	(2)		2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値 から他方の文字の値を求めることができる。	69.8	59.4			10.4
18		数量関係	表から、柱状グラフを完成させることができる。	91.6	90.1			1.5
19	(1)	数量関係	折れ線グラフを読み取ることができる。	73.4	69.0			4.4
	(2)		もとにする量の大きさが違うとき割合の大小と比べる量の 大小は一致しないことを、具体的に説明することができる。	39.1	34.7			4.4
	(3)		棒グラフを読み取ることができる。	69.8	65.1			4.7

【中学校2年 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	話すこと・ 聞くこと	話の内容を正確に聞き取ることができる。	93.1	93.9			-0.8
	(2)		聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。	83.9	87.4			-3.5
	(3)		司会者の工夫を聞き取ることができる。	85.6	90.1			-4.5
	(4)		相手の発言を注意して聞いて、自分の考えをまとめることができる。	52.7	53.4			-0.7
2	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。	96.7	96.0			0.7
				95.4	96.7			-1.3
				87.9	88.3			-0.4
				82.0	85.5			-3.5
	(2)		小学校で学習した漢字を書くことができる。	87.4	86.0			1.4
				32.6	27.3			5.3
				82.1	82.0			0.1
92.8	93.5			-0.7				
3	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。	95.8	95.3			0.5
	(2)		文節について理解している。	83.5	80.6			2.9
	(3)		修飾語について理解している。	80.4	78.9			1.5
	(4)		故事成語について理解している。	79.6	80.9			-1.3
4	(1)	読むこと	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	54.4	57.0			-2.6
	(2)		文章の展開をとらえて、その内容を整理することができる。	56.3	55.2			1.1
	(3)		文章の構成や展開をとらえることができる。	49.0	47.6			1.4
	(4)		文章の展開に即して要旨をとらえることができる。	50.9	50.4			0.5
5	(1)	読むこと	登場人物の心情をとらえることができる。	76.4	80.3			-3.9
	(2)		登場人物の心情の変化をとらえることができる。	85.2	87.2			-2.0
	(3)		文章の表現の特徴をとらえることができる。	53.0	55.5			-2.5
6	(1)	書くこと	文章の構成を考えて整理して書くことができる。	79.9	80.1			-0.2
	(2)		集めた材料を分類し、整理して書くことができる。	80.9	80.6			0.3
	(3)		伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確にして書くことができる。	56.4	53.2			3.2
7		書くこと	指定された文字数で書くことができる。	63.4	60.5			2.9
			3段落構成で文章を書くことができる。	58.0	54.8			3.2
			グラフから読み取った内容を明確に書くことができる。	68.3	66.8			1.5
				67.5	64.7			2.8
			自分の考えを明確に書くことができる。	61.2	57.3			3.9

【中学校2年 数学】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	数と式	負の数の減法ができる。	86.9	84.6			2.3
	(2)		負の数の累乗の計算ができる。	86.5	82.8			3.7
	(3)		同類項をまとめることができる。	77.5	79.6			-2.1
	(4)		1次式の減法ができる。	72.4	61.6			10.8
2	(1)	数と式	移項を必要としない1次方程式を解くことができる。	94.4	96.4			-2.0
	(2)		1次方程式を解くことができる。	76.4	64.3			12.1
3		数と式	比例式を解くことができる。	69.4	58.4			11.0
4	(1)	数と式	負の数を含む数の大小関係について理解している。	71.9	66.2			5.7
	(2)		数量の間の関係を不等式に表すことができる。	26.5	18.7			7.8
5		数と式	示された式に対応する図を選ぶことができる。	29.5	31.7			-2.2
6		数と式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	58.3	48.2			10.1
7		関数	関数について理解している。	34.0	41.3			-7.3
8		関数	比例の関係での、 x 、 y の値の変化の関係について理解している。	69.6	75.7			-6.1
9	(1)	関数	比例の関係を表す表から、 x と y の関係を式に表すことができる。	64.7	55.4			9.3
	(2)		反比例のグラフ(双曲線)から、 x と y の関係を表した表を選ぶことができる。	52.0	51.0			1.0
	(3)		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	51.7	41.0			10.7
10		関数	具体的な事象の数量関係を式に表し、その関係が反比例であることを指摘することができる。	46.8	42.8			4.0
11		図形	平行移動した距離について理解している。	82.2	85.9			-3.7
12		図形	角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。	37.1	38.4			-1.3
13		図形	おうぎ形の面積を求めることができる。	62.0	64.4			-2.4
14		図形	直方体の直線のねじれの位置関係について理解している。	76.8	78.1			-1.3
15	(1)	図形	球の表面積を求める式を理解している。	50.2	47.9			2.3
	(2)		底面積が等しい角錐と角柱の体積の関係について理解している。	50.3	47.1			3.2
16	(1)	資料の活用	累積度数について理解している。	67.8	57.8			10.0
	(2)		度数分布表から、ある階級の相対度数を求めることができる。	43.0	35.5			7.5
	(3)		中央値について理解している。	49.9	50.5			-0.6
17	(1)	図形	図形を対称移動させてつくった模様を選ぶことができる。	66.6	68.2			-1.6
	(2)		示された模様が図形を回転移動させてつくったものであることを読み取り、移動の方法を説明することができる。	12.5	13.9			-1.4
18	(1)	資料の活用	ヒストグラムから、ある階級の度数を読み取ることができる。	79.0	82.3			-3.3
	(2)		範囲が資料の散らばりを比較する値であることを理解している。	60.8	57.7			3.1
	(3)		新しい条件において予想することができる事柄について、予想できる理由を2つの度数折れ線(度数分布多角形)から読み取った傾向をもとに説明することができる。	28.7	26.6			2.1

【中学校2年 英語】

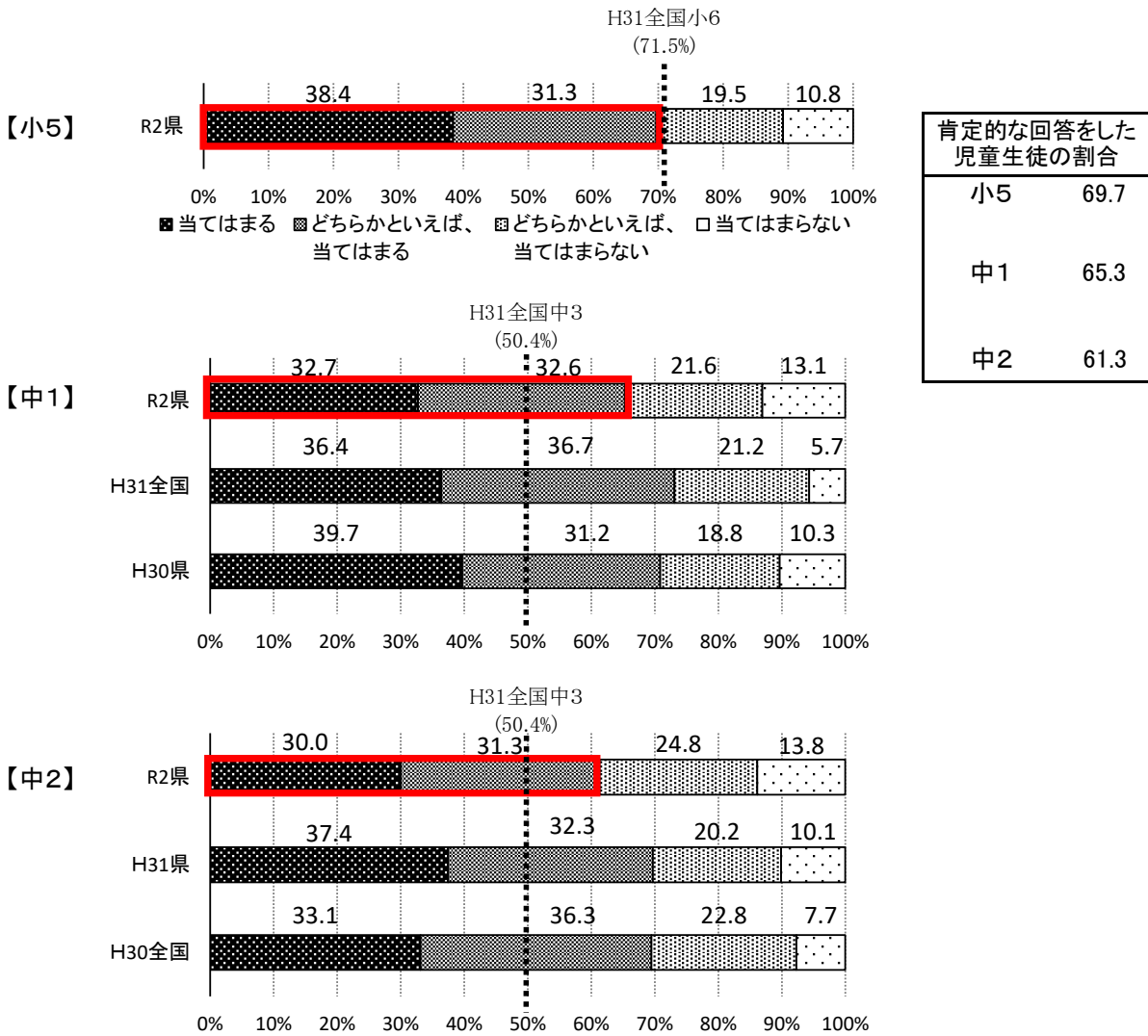
大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	県	全国			
				正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	聞くこと	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(していること)	83.1	83.2			-0.1
	(2)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(してはいけないこと)	97.2	95.0			2.2
	(3)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(クラスでしたことと曜日)	93.8	90.0			3.8
2	(1)	聞くこと	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(その本は面白いかとたずねられて)	76.8	76.0			0.8
	(2)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(住んでいる場所をたずねられて)	60.7	60.3			0.4
	(3)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(何時に起きるかたずねられて)	56.3	60.9			-4.6
3		聞くこと	英文の概要を聞き取ることができる。	94.4	93.5			0.9
4		聞くこと	英文の要点を聞き取ることができる。	43.0	42.5			0.5
5		聞くこと	対話の内容を聞き取り、絵をもとに英語で答えることができる。	46.7	42.7			4.0
6	(1)	読むこと	語形・語法を理解することができる。(疑問詞when)	73.1	65.4			7.7
			語形・語法を理解することができる。(過去形)	71.6	71.4			0.2
			語形・語法を理解することができる。(所有格)	66.2	69.7			-3.5
			語形・語法を理解することができる。(canの否定文)	83.0	82.5			0.5
	(2)		語や文法事項を理解して正しく文を読むことができる。	73.7	75.6			-1.9
			67.5	65.2			2.3	
7	(1)	読むこと	英文と資料の情報・条件をもとに、相手の意向に適切に応じることができる。	64.0	65.7			-1.7
	(2)		対話の流れと図をもとに、適切なものを選ぶことができる。	64.3	63.9			0.4
	(3)		対話の流れと表から、適切な語の組み合わせを選ぶことができる。	69.0	69.3			-0.3
			対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	65.8	63.8			2.0
8	(1)	読むこと	themの指す内容を把握することができる。	60.6	58.1			2.5
	(2)		メールの内容を把握することができる。	51.6	48.6			3.0
	(3)			70.7	72.5			-1.8
	(4)			読み取った内容をふまえて、英文を完成させることができる。	18.8	14.4		
9	(1)	書くこと	英文を正しい語順で書くことができる。(canの疑問文)	78.7	79.8			-1.1
	(2)		英文を正しい語順で書くことができる。(年齢を表す表現)	61.8	60.8			1.0
	(3)		英文を正しい語順で書くことができる。(how manyを使った疑問文)	63.9	64.7			-0.8
	(4)		英文を正しい語順で書くことができる。(Whereを使った疑問文)	59.2	51.2			8.0
10	(1)	書くこと	対話の流れに合った英文を書くことができる。「わたしのです」と答える)	54.4	57.9			-3.5
	(2)		対話の流れに合った英文を書くことができる。(Whatを使って今何をしているのかたずねる)	30.0	28.2			1.8
11		書くこと		57.7	58.5			-0.8
			学校にあるものについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	46.3	42.1			4.2
				37.4	33.5			3.9

3 学力と学習状況の相関から見える特徴

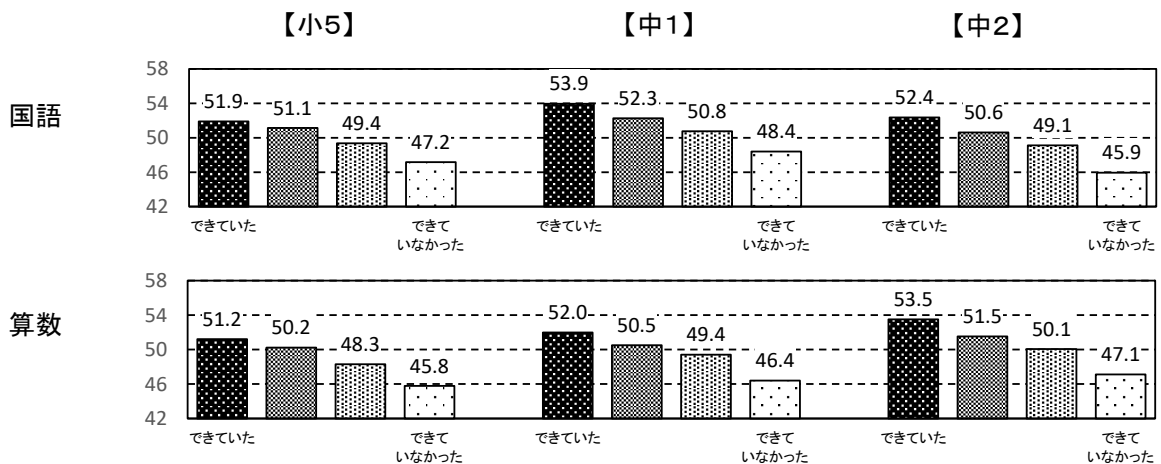
※ 児童生徒は、前学年の学習の様子を振り返って回答している。

○ 自分で計画を立てて勉強をしていた。

(1) 回答の状況

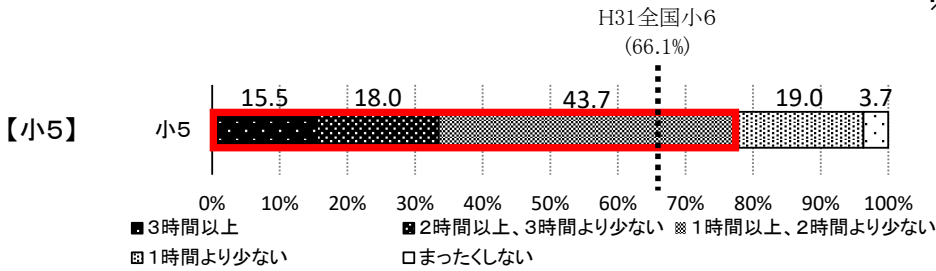


(2) 児童生徒が回答した選択肢別の標準スコア



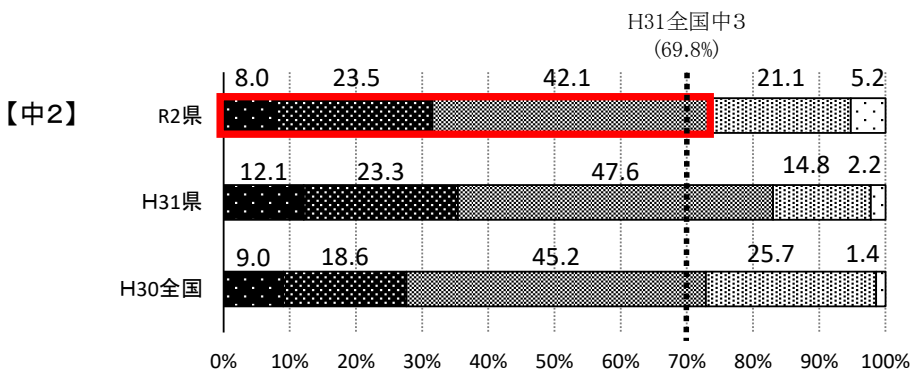
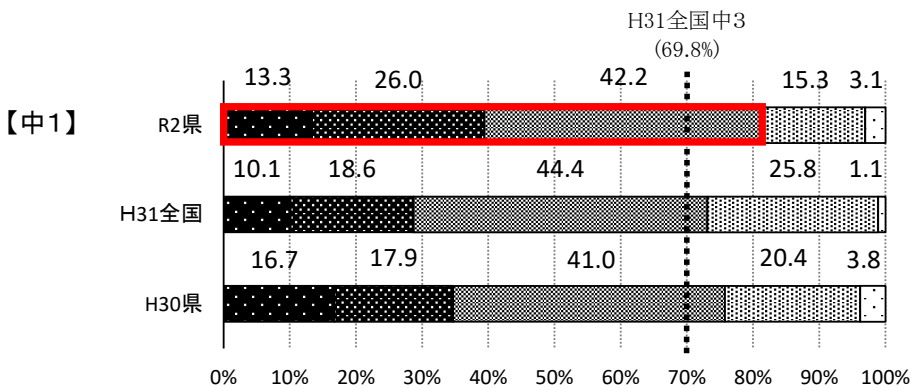
○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。

(1) 回答の状況

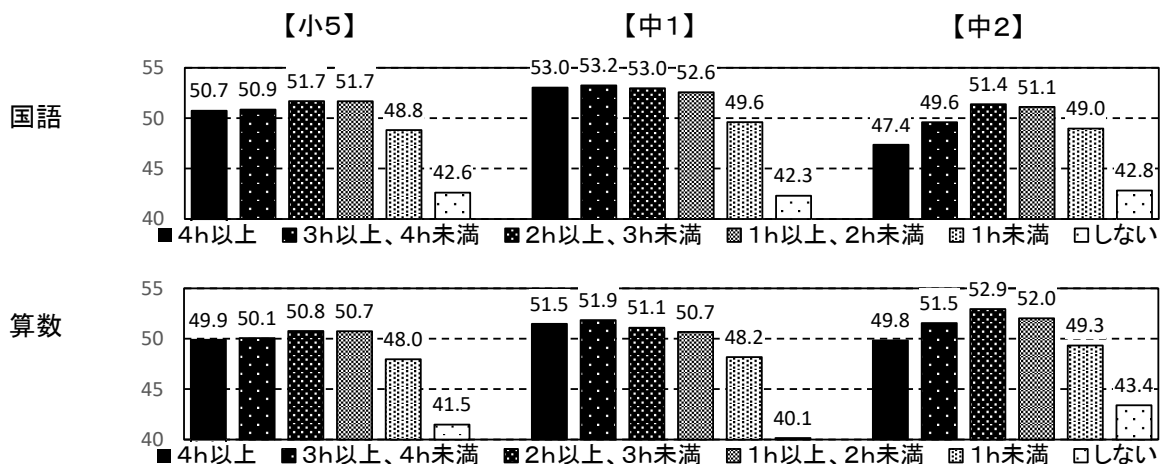


※ 過去に受検した全国調査結果も含めて経年比較をするため、県調査結果を凡例の項目に編集している。

小5	77.2
中1	81.6
中2	73.6

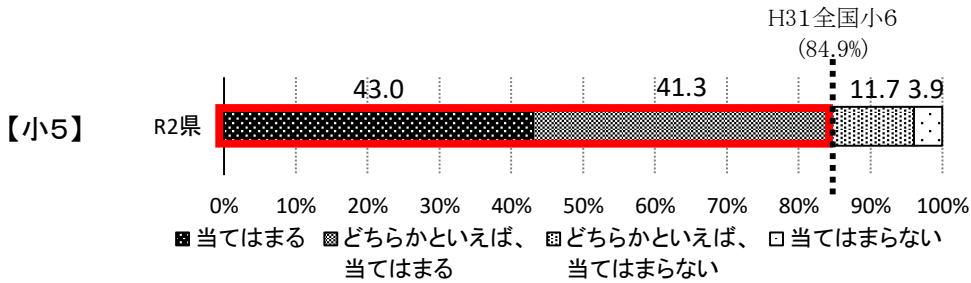


(2) 児童生徒が回答した選択肢別の標準スコア

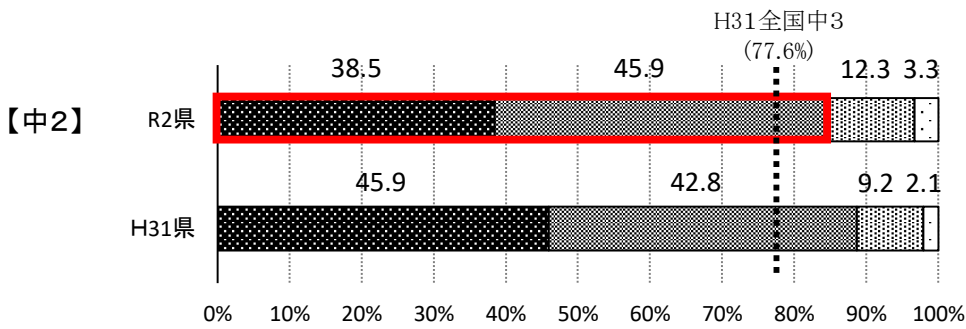
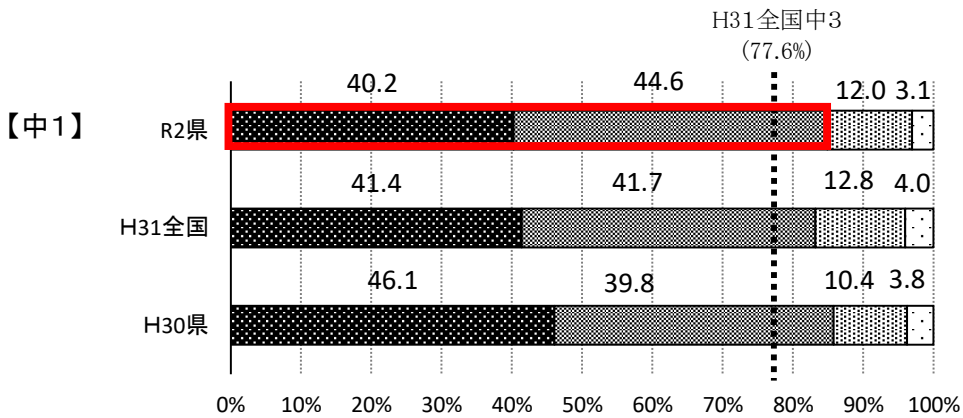


○ 国語の授業の内容はよく分かる。

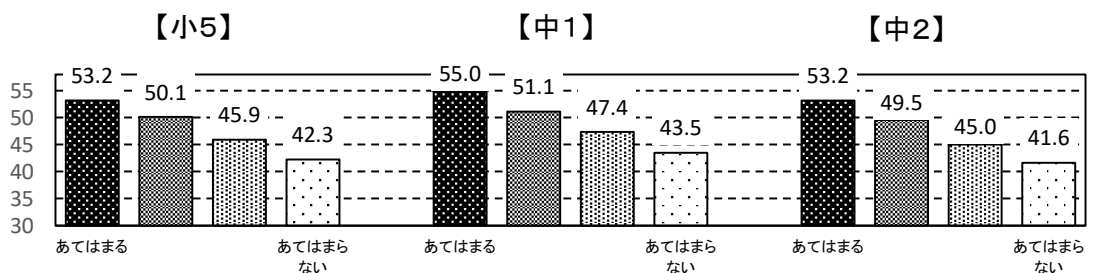
(1) 回答の状況



肯定的な回答をした児童生徒の割合	
小5	84.3
中1	84.9
中2	84.3

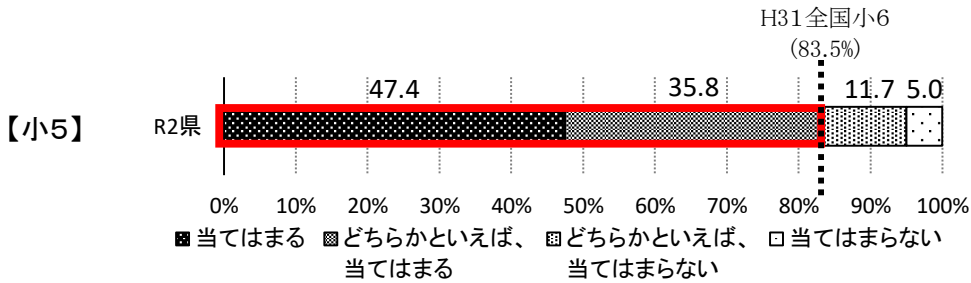


(2) 児童生徒が回答した選択肢別の標準スコア (国語)

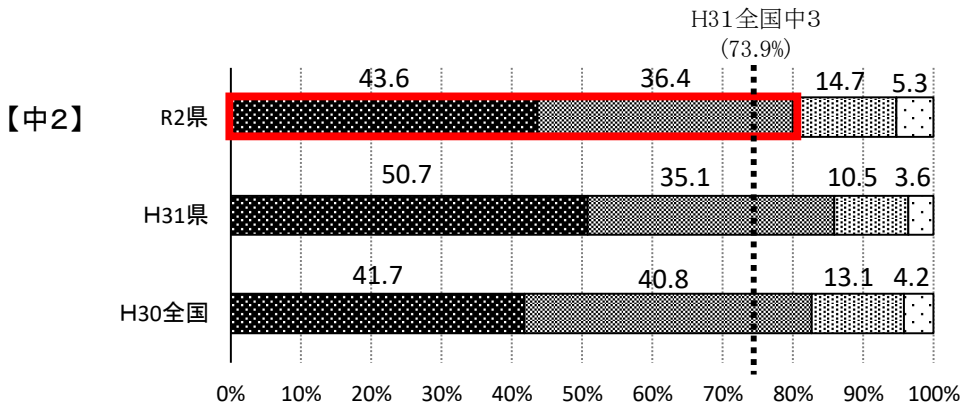
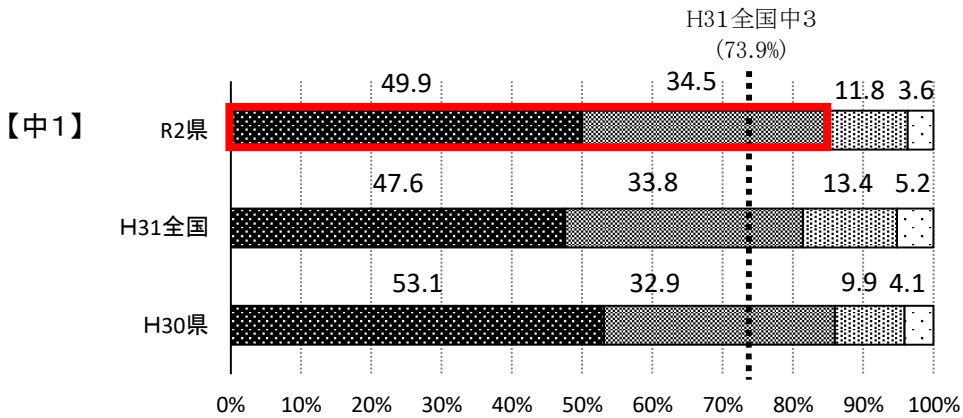


○ 算数・数学の授業の内容はよく分かる。

(1) 回答の状況



肯定的な回答をした児童生徒の割合	
小5	83.2
中1	84.4
中2	79.9



(2) 児童生徒が回答した選択肢別の標準スコア（算数・数学）

